

鎮静に関するよくある質問

1 定義に関すること

- Q. 鎮静はどのように定義されますか。 _____ 18, 137
- Q. 積極的安楽死と鎮静とはどう違いますか。 _____ 117
- Q. 鎮静はどのように分類されますか。 _____ 20
- Q. 呼吸困難に対する少量のミダゾラムの持続投与は「通常の緩和治療」か「苦痛緩和のための鎮静」かどちらかでしょうか。 _____ 67
- Q. せん妄に対するベンゾジアゼピンの投与は「通常の緩和治療」か「苦痛緩和のための鎮静」かどちらでしょうか。 _____ 55
- Q. 副次的鎮静は、鎮静に含まれないのですか。 _____ 19, 44
- Q. 日の単位はどのように定義されますか。 _____ 91

2 適応に関すること

- Q. 精神的苦痛・スピリチュアルペインに対して持続的鎮静をすることは許容されるでしょうか。 _____ 90, 125, 143
- Q. 月単位の子後がある患者の治療抵抗性の苦痛に対して持続的深い鎮静をすることは許容されるでしょうか。 _____ 90, 127
- Q. 鎮静の目的が苦痛緩和であれば、生命予後の短縮が生じたとしても許容されるでしょうか。 _____ 88, 114, 125
- Q. 小児やがん以外の疾患の場合も、この手引きに沿って鎮静を行えばよいですか。 _____ 3
- Q. 鎮静はどれくらいの割合の患者に実施するのが適正なのでしょう。 _____ 5, 138, 141
- Q. 持続的鎮静を行うにはどのような要件を満たす必要がありますか。 _____ 86, 114
- Q. 鎮静での相応性とは何ですか。 _____ 88, 114

3 治療抵抗性の症状に関すること

1 痛み

- Q. 予後が限られている状況であれば非がん性疼痛にオピオイドを使用してもよいでしょうか。 _____ 33
- Q. 非がん性疼痛を治療抵抗性の痛みと判断してよいでしょうか。 _____ 33, 44

- Q. オピオイドをどこまで増量すれば治療抵抗性の痛みと判断してよいでしょうか。 — 36, 43, 90
- Q. 施設に専門家がおらず、神経ブロックや放射線治療、IVR (interventional radiology) などが検討できない状況で治療抵抗性の痛みと判断してもよいでしょうか。 — 18, 42, 43, 89

2 せん妄

- Q. せん妄は精神的苦痛ではないでしょうか。 ————— 92
- Q. 苦痛緩和のための鎮静が「治療抵抗性の苦痛を緩和することを目的として、鎮静薬を投与すること」と定義されていますが、せん妄が治療抵抗性と判断する目安に、ベンゾジアゼピン受容体作動薬を使用していることが含まれていることは矛盾しないでしょうか。 ————— 55

3 呼吸困難

- Q. オピオイドをどこまで増量すれば治療抵抗性の呼吸困難と判断してよいでしょうか。 ————— 64-66
- Q. 治療抵抗性の痛みや呼吸困難に対して、鎮静の目的でモルヒネなどのオピオイドを増量することは望ましいでしょうか。 ————— 19, 36, 64

4 倦怠感

- Q. 倦怠感や身の置き所のなさのために鎮静を行うことが多い気がするのですが。 ——— 143

4 意思決定・説明・同意に関すること

- Q. 持続的鎮静を開始する際に、説明を考慮すべき内容は何か。 ————— 97
- Q. 持続的鎮静を開始する際に、意思決定能力のある患者に対しては、どの程度説明する必要がありますか。 ————— 95, 97, 130
- Q. 鎮静を開始する時は、患者・家族から説明同意書をもらう必要がありますか。 — 98, 130
- Q. 意思決定能力があり余命を知りたくないという意思表示のない患者に、鎮静の説明をする際に予後（死期が切迫していること）について説明する必要はあるでしょうか。 ————— 97, 130
- Q. 患者に意思決定能力がない場合、家族のみの同意で鎮静を開始してもよいでしょうか。 ————— 96, 115, 132
- Q. 患者は鎮静を希望しているけれども家族が拒否している場合、どのように対応すればよいでしょうか。 ————— 100, 115

5 実際の投与方法・評価に関すること

- Q. 生命予後はどのように予測しますか。 ————— 89
- Q. 鎮静薬には何を用いたらよいですか。 ————— 81, 106, 148
- Q. 鎮静薬は具体的にどのように投与したらよいでしょうか。 ————— 81, 106, 186
- Q. 鎮静薬に対して拮抗薬はどのように使ったらよいでしょうか。 ————— 82
- Q. 鎮静を実施する際には何を評価するべきですか。 ————— 109

6 有害事象・生命予後への影響

- Q. 鎮静ではどのような副作用がどれくらい生じますか。 ————— 155
- Q. 鎮静で生命予後は短くなりますか。 ————— 159

7 家族へのケア

- Q. 家族へはどのようなケアをしたらよいでしょうか。 ————— 109, 161
- Q. 家族にとって鎮静はどのような体験でしょうか。 ————— 161

8 チーム医療・診療記録に関すること

- Q. 持続的な鎮静を開始する際に医療者間で検討すべきことは何でしょうか。 ——— 86, 114
- Q. 鎮静のカンファレンスで、どこを議論進行の参考にするとよいでしょうか。 ————— 13
- Q. 鎮静を行う際に、どのような記録を残さなければなりませんか。 ————— 104